

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 29 年 4 月 20 日 (2017.4.20)

【公表番号】特表 2016-512902 (P2016-512902A)
【公表日】平成 28 年 5 月 9 日 (2016.5.9)
【年通号数】公開・登録公報 2016-027
【出願番号】特願 2016-504307 (P2016-504307)
【国際特許分類】

G 0 2 B 6/36 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/36

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 13 日 (2017.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光ファイバーを収容する外被付き光ファイバーケーブルを終端処理する光コネクタであって、前記外被付きケーブルは、外被を含み、前記光コネクタは、

レセプタクルと嵌合するように構成されたハウジングと、

前記ハウジング内に配置された鏝体であって、前記鏝体が、第 1 の端部において、フェルールを固定し、前記鏝体が、前記鏝体の第 2 の部分に配置された把持機構を含み、前記鏝体が、前記鏝体の第 3 の部分内に構成されたバッファークランプを更を含み、前記バッファークランプが、作動時に、前記光ファイバーのバッファークラディングの少なくとも一部分をクランプするように構成される、鏝体と、

前記ハウジング内に前記鏝体を保持するバックボーンであって、前記バックボーンが、前記バックボーン的一端において、中心ボアを取り囲む実装構造体を含み、前記実装構造体は、前記ケーブル外被の切り裂かれた部分を受容するように構成された少なくとも 1 つのポケット領域を有する、バックボーンと、を含む、光コネクタ。

【請求項 2】

前記実装構造体に係合し、かつ前記ケーブル外被の前記切り裂かれた部分を、前記バックボーンの前記実装構造体に固定するように構成された、ファイバーブーツを更を含む、請求項 1 に記載の光コネクタ。

【請求項 3】

前記ブーツが、前記実装構造体上に形成された外側ねじ山と係合するように構成された螺刻部分を有するナット部分を含む、請求項 2 に記載の光コネクタ。

【請求項 4】

前記ファイバーブーツが、前記ファイバーケーブルの横方向の動きを制限するテイル部を更を含む、請求項 3 に記載の光コネクタ。